

世羅町の人口を増やそうプロジェクト！ ～伝えよう世羅の魅力～

学年・教科	第5学年・総合的な学習の時間
学習テーマ	世羅の魅力を伝え、広げるためには
関連 SDGs	11 住み続けられるまちづくりを

単元情報

(1) 単元計画の概要

第5学年では、これまでの学びや世羅のよさを追究し、町外の人に紹介することを目的として単元を設定した。「世羅をもっと元気にするためには」という問いから、地域の課題を知り、自分たちにできることを考え、取り組むことを通して、自発性やコミュニケーション能力の育成を図る。

(2) 育成したい資質・能力

【自発性】

- ・課題解決に向けて計画的に学習を進める。
- ・相手に分かりやすい内容になっているか、試行錯誤しながら粘り強く学習に取り組む。

【コミュニケーション能力】

- ・自分の意見を相手や目的に応じて説明することができる。
- ・相手の考えを理解し、自分の考えを伝えたり質問したりすることができる。
- ・他のグループや校内の先生、地域の方からのアドバイスを整理しながら聞き、相手が伝えたい意図を理解することができる。

(3) 単元の目標

世羅町の産業・観光業等の魅力をPRする活動を通して、地域に対する愛情を深め、地域のために自分たちでできることを考え課題を解決していこうとする態度を養う。また、多様な他者と協働したり対話したりすることで情報活用能力を身に付け、課題発見・課題解決を行うことができる。

(4) 他の単元との関連

- ・国語「きいて、きいて、きいてみよう」(4月)
- ・国語「見立てる」(5月)
- ・国語「目的に応じて引用するとき」(6月)
- ・国語「みんなが過ごしやすい町へ」(6月)
- ・社会「わたしたちの生活と食料生産」(6月)
- ・国語「新聞を読もう」(9月)
- ・社会「これからの食料生産とわたしたち」(9月)
- ・国語「よりよい学校生活のために」(10月)
- ・国語「あなたはどうか考える」(12月)

児童の実態

(1) 学級（学年）の雰囲気

○ペアトークやグループトークに意欲的に取り組むことができる。グループでの活動の際には、自分たちで順番を決めて意見を出し合う等他者のことを考えながら学習できる児童が多く、温かい雰囲気の中で学習をすることができている。

○ICT機器の活用に関わって、ICTの操作にも慣れてきており、Google Workspace を使った共同編集にも慣れてきている。情報収集については、すべての児童が課題について検索エンジンやNHK for School を活用して、意欲的に調べ学習をすることができるが、調べた内容をそのまま書き写し、理解していないことがある。

(2) 資質・能力に係る状況

自発性に関わって、一学期から課題を設定し、自分たちで計画を立てて学習する場を設定しており、学習の流れを組み立てることができるようになってきているが、進捗状況を踏まえて計画を見直すことには課題がある。情報収集の面では、情報を広く収集することはできるが、比較したりインタビューをして相手から聞き出したりするという活動は経験が少ない。

コミュニケーション能力に関わって、ペアトークやフリートークを行う際に、自分の考えや思いを話すことができるようになってきている。しかし、異性とのコミュニケーションに苦手意識を感じている児童がいる。1学期に行った三次市立みらさか小学校とのオンライン交流では、どの児童も説明をしたり感想や質問を交流したりすることができた。しかし、外部の大人との関わりをもった経験は少ない。

単元指針

(1) 単元の目標を達成するための指導の工夫

(1) プロジェクト型アプローチの視点

- ①「世羅町をもっと元気にするために、自分たちにできること」を問い、どんな方法で魅力を発信していくのか話し合いをする。
- ②プロジェクトによる探究を通して、地域が抱える人口減少や少子高齢化の課題について知り、課題の解決に向けての取組や関わる方の思いについて理解を深める。
- ③プロジェクトの成果を発信し、移住促進や定住促進を図り、地域社会に学習成果を還元させる。

(2) 資質・能力に関わる視点

世羅町へ移住された方の思いや産業について学習し、地域のよさを実感させ、自分たちが世羅町の産業や観光業等の魅力を発信するというゴールを設定することで、児童が目的意識をもち、自ら課題を解決していこうとする自発性を養う。また、グループごとに活動計画書を作成し、進捗状況に合わせて見直したり、1時間の授業の流れを学習アイコンを活用し、児童と一緒に組み立てたりすることを通して自発性を養う。

クラスの中でアドバイスをし合ったり、三次市立みらさか小学校との遠隔授業を設定したりすることで、自分の町について紹介したいという意欲を高めたり、新たな視点での意見を聞いたり、迷っている表現等を相手に相談したりすることでコミュニケーション能力を育成するとともに、相手意識をもった多様な見方も身に付けさせる。

(2) 評価規準		
【知識・技能】	【思考・表現・判断】	【主体的に学習に取り組む態度】
<p>①地域には、人口減少や少子高齢化の課題があることを理解し、課題の解決に向けて移住支援や定住促進に取り組んでいる人の思いに気付いている。</p> <p>②ICT 機器を活用して情報を収集し、収集した情報をもとに文書やスライドの作成、動画の編集等している。</p> <p>③地域社会の課題に対する自らの意識の高まりは、地域の移住促進について探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①活動を進める中で、自発的に次の課題を設定している。</p> <p>②必要な情報を幅広く収集し、その情報をもとに、新たなアイデアを生み出している。(コミュニケーション能力)</p> <p>③「世羅で働きたいと感じてもらえる魅力になっているか」「有効か」等の視点で情報を見直している。</p> <p>④相手や目的に応じて効果的な表現をしている。(コミュニケーション能力)</p>	<p>①課題設定、優先順位の設定、課題解決を行おうとしている。</p> <p>(自発性)</p> <p>②自ら意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。</p> <p>③友達と役割分担し、自他の考えの良さを生かしながら問題の解決に向け、協力しようとしている。</p>
(3) 質問		
本質的な問い	世羅町をもっと元気にするためには？	
単元を貫く問い	世羅町外の人に「世羅に住みたい・行ってみたい」と思ってもらうためにはどうすればいいだろう。	

学習活動の構想				
学習段階	学習活動 (Q 個別の問い ・ 児童の活動)	評価		教材及び ICT 活用
		評価規準	評価方法	
課題設定 (4時間)	<p>Q 幸福度2位の世羅町が抱える課題は何だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 世羅町の人口推移を見て町が抱える課題を考える。 <p>Q 人口減少や少子高齢化を抱える世羅町のために何ができるだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手を意識した紹介内容を考える。 <p>Q 紹介するために調べたいことは、何だろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 調べる内容を出し合い、決める。 学習計画を立てる。 	<p>【思①】 自発的に課題を設定している。</p> <p>【知①】 自ら情報収集して、地域の現状や課題について理解している。</p> <p>【主①】 課題設定、優先順位の設定、課題解決を行おうとしている。(自発性)</p>	行動観察 Jamboard スプレッドシート	Jamboard スプレッドシート
情報収集 (10時間)	<p>Q どのくらいの人数が世羅に働きに来ているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 世羅町役場の方に質問の依頼をする。 世羅町役場の方にインタビューをする。 世羅町役場の方から生産人口について話をしてもらい、移住者を増やすための取組について説明をもらう。 	<p>【思②】 必要な情報を幅広く収集し、その情報をもとに、新たなアイデアを生み出している。(コミュニケーション能力)</p>	行動観察 Jamboard スプレッドシート Google スライド	Jamboard スプレッドシート Google スライド

<p>本時 (8/10)</p>	<p>Q 世羅に移住した方は、世羅のどんなことを魅力だと思っているのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> 世羅町の HP や YouTube を使い、移住者の人について調べる。 話を聞いてみたい移住者の方や空き家バンクの活動をされている方に、インタビューの依頼をする。 移住者の方や空き家バンクの活動をされている方にインタビューを行う。 	<p>【思③】 相手や目的に応じ て効果的な表現をし ている。(コミュニ ケーション能力)</p>		
<p>整理・分析 (6時間)</p>	<p>Q 調べた情報を整理して、世羅で働くことの魅力をどのようにまとめたらよいだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> Google スライドを活用して、プレゼンテーションを作成する。 iPad を活用して、動画を編集する。 話す原稿をドキュメントで作成する。 情報発信の際に気を付ける情報モラルについて知る。 	<p>【知②】 ICT 機器を活用し て、収集した情報をもとに文書やスライドの作成、動画の編集等をしている。</p> <p>【主③】 友達と役割分担し、自他の考えの良さを生かしながら問題の解決に向け、協力しようとしている。</p>	<p>行動観察 Jamboard スプレッド シート Google ス ライド</p>	<p>Jamboard スプレッド シート Google ス ライド</p>
<p>まとめ・表現 (2時間)</p>	<p>Q みらさか小学校の子は私たちの考えをどう思うだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> みらさか小学校と成果物を交流し、アドバイスをし合う。 	<p>【思③】 相手や目的に応じ て効果的な表現をし ている。(コミュニ ケーション能力)</p> <p>【主②】 自ら意見や考えをもち、他者の意見も尊重しながらより良い方法を検討しようとしている。</p>	<p>行動観察 Google ス ライド ふり返し シート</p>	<p>Jamboard スプレッド シート Google ス ライド</p>
<p>整理・分析 (3時間)</p>	<p>Q みらさか小学校のアドバイスをもとに、どのように改善したらいいだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> みらさか小学校からもらったアドバイスをもとに、改善する。 	<p>【主①】 課題設定、優先順位の設定、課題解決を行おうとしている。(自発性)</p> <p>【思②】 必要な情報を幅広く収集し、その情報をもとに、新たなアイデアを生み出している。(コミュニケーション能力)</p>	<p>行動観察 Google ス ライド ふり返し シート</p>	<p>Jamboard スプレッド シート Google ス ライド</p>

まとめ・表現 (3時間)	Q 事業所の方は、私たちの考えをどう思うだろう <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションに使わせていただく許可を取るために手紙を書く。 ・各事業所の方に成果物を見ていただき、必要であれば改善する。 	【思③】 相手や目的に応じて効果的な表現にしている。	ふり返しシート	スプレッドシート ドキュメント
実行・振り返り (2時間)	Q みんなの発信によって、どんな効果があったのだろう <ul style="list-style-type: none"> ・掲示させてもらった施設の人に、感想や効果について聞く。 Q 今回のプロジェクトの成果と課題はなんだろう <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動を分析し、次年度の課題につなげる。 	【思③】 相手や目的に応じて効果的な表現にしている。 【知③】 地域社会の課題に対する自らの意識の高まりは、地域の移住促進に探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。 【思①】 活動を進める中で、自発的に次の課題を設定している。	ふり返しシート	スプレッドシート

本時の学習内容

本時の目標	話を聞いてみたい移住者の方や空き家バンクの活動をされている方に、インタビューの依頼をするための計画を立て、実行することができる。
内容質問	世羅に移住した方は、世羅のどんなことを魅力だと思っているのだろう。

学習段階	学習活動 (Q 主な発問 ・ 児童の活動)	教師の動き (指導上の留意点)	評価規準 (評価方法)
導入 (5分)	Q 世羅に移住した人は、どんなことを魅力だと思っているのだろう <ul style="list-style-type: none"> ・各グループで活動の流れを確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループは、農業をする人をターゲットにしているから、移住者の〇〇さんに話を聞きたいな。 ・自分たちのグループは、子育て世代をターゲットにしているから、子育てをしに移住してきた人を役場の人に紹介してもらおう。 ・移住体験についてもっと知りたいから役場の方に質問しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「世羅に住みたい、行ってみたい」と思ってもらおうという活動のめあてを確認する。 ・「誰に」伝えるのかを確認させ、インタビューの相手が目的と逸れないようにする。 	

<p>展開① (25分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> インタビューに向けて計画を立て、計画に沿って準備を進める。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈移住者へのインタビューの視点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ①世羅町に移住した理由 ②世羅町に住んでみて感じる良さ ③世羅に住んでみて感じる大変さ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈移住者にインタビューしないグループ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことが明確になっているか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される活動 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューしたい相手に依頼する文を考える。 ・インタビューする相手を紹介してもらうために、役場の方に依頼する文を考える。 ・完成した文章を先生に確認してもらう。 ・インタビューしたい相手に、手紙やメール、電話で依頼をする。 ・役場の方にもっと知りたいことをメールで問い合わせる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループを見て回り、必要に応じて声かけを行う。 世羅町HPやYouTubeのリンクをClassroomで共有しておき、児童が必要に応じて活用できるようにする。 話し合った内容をスプレッドシートに整理させる。 インタビューの視点を明確にし、プロジェクトの成果につなげられるようにする。 移住者へのインタビュー活動をしないグループには、役場の方に疑問点が伝わる内容になっているかを意識させる。 相手に目的が伝わるか、丁寧な言葉で依頼ができてきているかを見直すように声をかける。 依頼する文が完成したグループは、実際に電話やメールで依頼するように促す。 	<p>【思③】 相手や目的に応じて効果的に表現をしている。(コミュニケーション能力)</p>
<p>まとめ (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループで活動の進捗状況を整理する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈予想される児童の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、実際に電話をかけてインタビューの依頼しよう。 ・インタビューの依頼ができたから、質問や役割を決めておこう。 ・役場の方から返事が来たら、みんなで答えを確認して整理しよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループを見て回り、次の時間の見通しがもてるように必要に応じて声かけを行う。 整理できたグループは、スプレッドシートの学習計画を見直し、必要があれば加筆するように伝える。 	
<p>ふり返し (10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 個人で本時のふり返しをする。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューを依頼する際に気を付けたことや、今後、知りたいことについて振り返らせる。 ふり返しを交流する。 	

評価ツール

【資質・能力の自己評価用ルーブリック】

自発性	S	A	B	C
自ら課題を見つける力、チャレンジする	世羅に移住する魅力が伝わるようによりよいものを作ろうと見直し、具体的な解決方法を考えている。	成果と課題を振り返り、原因を追究したり、今後の方向性を考えたりしている。	自分から何をするか考えて、活動している。	課題を見出そうとしていない。
自ら学習の進捗管理をする	班の活動の進み具合を考え、活動計画を見直しながら活動している。	学習計画と班の活動の進み具合を考え、今日の時間で何をしなければいけないかを考えながら活動している。	学習計画を見て、今日の時間で何をするか確認して活動している。	学習計画を立てて活動しようとしていない。

コミュニケーション能力	S	A	B	C
伝える能力	相手や目的を意識し、適切な方法で自分の意見を説明することができる。	自分の意見を、根拠をもとに説明することができる。	自分の意見を伝えることができる。	自分の意見を伝えることができない。
受け取る能力	聞き取った相手の意見を要約し、確認したり質問したりすることができる。	相手の意見を、うなずいたり相づちを打ったりする等、反応しながら聞き取っている。	相手の意見を理解しながら聞き取っている。	相手の意見を理解していない。